

令和5年2月17日

令和4年度鹿児島学習定着度調査

奄美市教育委員会

1 実施の状況

【調査日】令和5年1月17日（火）、18日（水）

【調査対象】小学校第5学年、中学校第1・2学年

【調査の趣旨】

基礎的・基本的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力の状況を把握するとともに、全県的な傾向との比較・分析を通じて、各学校が自校の課題を明確にし、問題解決的な学習活動を取り入れるなど、授業の指導法を改善し、児童生徒の学力向上を図ることを目的とする。

【学力調査】

基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する内容

・ 小学校（国語、社会、算数、理科）

・ 中学校（国語、社会、数学、理科、英語）

【学習状況調査】

学習に関する意識や学び方に関する内容

【実施校数】

小学校 19校、中学校1年11校、中学校2年11校

2 教科に関する調査の結果

(1) 市の平均正答率 は70%以上。()内は、県平均との差

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	72.1(1.1)	79.2(1.7)	69.1(1.7)	70.0(-1.7)	
中1	68.5(-1.9)	63.5(-4.9)	69.6(-1.3)	62.5(-0.7)	73.3(-2.4)
中2	66.6(-4.4)	52.2(-3.0)	69.4(-3.1)	59.0(-3.5)	64.7(-3.1)

《参考》過去3年間の学力調査の結果

【令和3年度】

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	72.1(-0.2)	81.5(1.6)	69.0(-1.6)	65.9(-7.2)	
中1	71.4(-2.2)	75.4(5.1)	68.2(2.2)	69.7(0.3)	67.1(-4.4)
中2	79.0(1.7)	71.4(4.6)	69.7(-0.5)	69.7(1.1)	58.6(-1.8)

【令和2年度】

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	75.2(0.1)	76.8(1.3)	68.8(-0.6)	72.9(-2.0)	
中1	81.0(2.3)	68.5(4.1)	74.4(-0.6)	73.6(3.3)	68.3(0.2)
中2	77.1(0.4)	74.3(6.7)	65.0(-2.0)	72.2(1.4)	59.1(1.3)

【令和元年度】

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	70.9(-2.7)	69.5(-2.7)	73.9(-2.8)	79.7(-1.5)	
中1	79.3(-0.3)	68.8(3.9)	68.4(-3.0)	64.3(-0.5)	68.0(0.1)
中2	76.1(1.6)	64.0(2.8)	58.2(-2.5)	56.4(-1.6)	64.5(3.5)

(2) 結果の詳細

ア 結果の概要

- ・ 本調査は、設定通過率を「基礎・基本」8割、「思考・表現」5割、全体の通過率を7割に設定し、調査問題を作成している。
- ・ 令和4年度、7割を超えた教科は、14調査中6教科であった。
- ・ 県平均と比較すると、小学校は、理科以外は県平均を上回っている。
- ・ 中学校では、1・2年ともに全ての教科で県平均を下回っている。

イ 「基礎・基本」の分析

(ア) 基礎・基本に係る問題で、正答率が9割を超えた問題

<小学校5年>

- 国語 漢字を正しく読めるかを問う問題
- 国語 目的や場に応じて適切な敬語を使えるかを問う問題
- 社会 世界の大陸を正しく理解しているかを問う問題
- 社会 日本の気候に影響を与える風を理解しているかを問う問題
- 社会 適切な資料を選択し、正しい情報を読み取れるかを問う問題
- 社会 工業がさかんか一体の総称を理解しているかを問う問題
- 算数 整数の除法を計算できるかを問う問題
- 理科 日光が当たると暖かくなることを理解しているかを問う問題

<中学校1年>

- 国語 漢字を正しく読めるかを問う問題
- 国語 古語の正しい意味を理解しているかを問う問題
- 社会 世界の大陸を正しく理解しているかを問う問題
- 社会 日本の気候に影響を与える風を理解しているかを問う問題
- 数学 正・負の数の加法の計算ができるかを問う問題
- 理科 振動により音が鳴ることを理解しているかを問う問題
- 英語 ノートを開ける指示を聞き取れるかを問う問題

<中学校2年>

- 国語 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるかを問う問題
- 社会 防災マップについて理解しているかを問う問題
- 数学 単項式どうしの除法の計算ができるかを問う問題
- 数学 二元一次方程式を立式できるかを問う問題
- 理科 赤血球のはたらきを理解しているかを問う問題
- 英語 日常的な対話を聞いて適切な絵を選べるかを問う問題
- 英語 文と文のつながりに注意して英文を選択できるかを問う問題
- 英語 説明文の内容を捉え、適切な絵を選べるかを問う問題
- 英語 グラフの内容を正しく表す英文を選択できるかを問う問題

(イ) 基礎・基本に係る問題で、正答率が5割に届かなかった問題

<小学校5年>

- 国語 文の中の修飾語を理解しているかを問う問題
- 理科 方位磁針の正しい使い方を理解しているかを問う問題

<中学校1年>

- 国語 部首を正しく理解しているかを問う問題
- 国語 文脈上の語句の意味を判断することができるかを問う問題
- 社会 排他的経済水域の広さを求めることができるかを問う問題
- 社会 地域協力組織や工業の特色を理解しているかを問う問題
- 社会 孔子について理解しているかを問う問題
- 理科 流水の働きでできる粒子の特徴を理解しているかを問う問題
- 理科 粒の違いで地層の層の厚さ理解しているかを問う問題
- 英語 正しい日付を聞き取ることができるかを問う問題
- 英語 勧誘に対して適切に答えられるかを問う問題
- 英語 適切な語句を補って表現できるかを問う問題

- < 中学校 2 年 >
- 国語 漢字を正しく読めるか問う問題
- 国語 行書の特徴を理解しているか問う問題
- 社会 扇状地について理解しているか問う問題
- 社会 県の市を特定し、かつ県庁所在地を理解しているか問う問題
- 社会 複数の資料の情報をもとに選択できるか問う問題
- 社会 新航路の開拓について理解しているか問う問題
- 社会 江戸時代のアジアとの交流について理解しているか問う問題
- 社会 江戸幕府の政治改革の特徴を理解しているか問う問題
- 理科 細胞による呼吸を理解しているか問う問題
- 理科 酸化銅の化学式を理解しているか問う問題
- 理科 垂直抗力を理解し、正しく表現できるか問う問題
- 英語 文脈から判断し適切な英文で表現できるか問う問題
- 英語 3 単現の肯定文や不定詞などを用いて表現できるか問う問題

ウ 「思考・判断・表現」の分析

(ア) 思考・判断・表現に係る問題で、正答率が 8 割を超えた問題

- < 小学校 5 年 >
- 国語 内容の大体をとらえることができるかを問う問題
- 国語 考えが伝わるように書くことができるかを問う問題
- 社会 2 つの資料から読み取ったことを説明できるかを問う問題
- < 中学校 1 年 >
- 国語 読み手の立場に立ち、文章を整えることができるかを問う問題
- 国語 互いの発言を結び付けて考えをまとめることを問う問題
- 社会 弥生時代の社会の変化を説明することができるかを問う問題
- 英語 自己紹介を聞き取ることができるかを問う問題
- 英語 好きなスポーツを答えることができるかを問う問題
- < 中学校 2 年 >
- 数学 問題場面の考察の対象を正しく捉えられるかを問う問題
- 数学 比例が利用されていることを見いだすことができるかを問う問題
- (イ) 思考・判断・表現に係る問題で、正答率が 4 割に満たない問題
- < 中学校 1 年 >
- 数学 データの特徴を捉え、問題の結論を考察できるかを問う問題
- 理科 飽和水溶液の濃度を求めることができるかを問う問題
- < 中学校 2 年 >
- 社会 宗教改革と海外新出をつなげて説明できるかを問う問題
- 社会 資料から秀吉のキリスト教への対応を説明できるかを問う問題
- 数学 与えられた事象の求め方を判断することができるかを問う問題
- 数学 データの傾向を捉え、数学的に理由を説明できるかを問う問題
- 理科 養分が小腸から吸収されることを理解しているかを問う問題
- 理科 複数の結果を求め、比較しながら考察できるかを問う問題
- 英語 聞いて把握した内容について、応じることができるかを問う問題
- 英語 情報を整理したり構成を考えたりして正しく書けるかを問う問題

3 考察

小学校は、ある程度の学習内容の定着がみられるが、中学校では課題が大きいと考える。特に、基礎・基本に係る問題の正答率が低かったことから、確実な定着という面が不十分だったと考える。また、思考・判断・表現に係る問題では、事実から考察したり、資料をもとに自分の考えをもち説明したりすることに課題がみられた。

このことから、市教委としては、日々の授業で「確かめ・見届け」の充実を図ったり、自分の考えを相手意識をもって表出させたりすることを意識して取り組むように指導する。また、自分の考えをもたせた上で対話したり、言語活動を意図的に組み入れたりして、自分の考えと友達のを比較・関連付けるなど、「考えが深まる」ことを意識した授業に取り組むよう指導する。